

## 第 5 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

5 年 1 組 指 導 者 岡 崎 典 子

### 題 材 思いを伝えるプレートをつくろう

#### 1 本題材について

本学級の子どもたちは、「パズルドミノをつくろう」において、電動糸のこぎりを使いながら 1 枚の板を切り抜き、楽しく遊んだり飾ったりする作品をつくる経験をしている。その学習の中で、形や色、材料や用具の特徴を生かして表し方を構想する姿が見られた。また、自分や仲間がつくった作品でドミノたおしやパズル遊びをしながら、互いの表現のよさを感じ取っている姿も見られた。このような子どもたちが、自分が使って楽しむだけでなく、相手意識をもって思いを伝えたり身の回りを楽しくしたりするものをつくることは、自分の感じ方や見方を深めることにつながると考えた。

本題材は、お気に入りの場所への思いや場所の用途から伝えたいことを考え、形や色、身近な材料や用具の特徴を生かしてプレートをつくる学習である。まず、子どもたちは、参考作品を見て、伝えようとしていることや表し方の工夫を見付ける。次に、お気に入りの場所への思いや場所の用途から、伝えたいことを簡単な絵や言葉にかきとめながら、イメージを形にしていく。そして、ダンボール紙などで試作品をつくって表し方を考えた上で、形や色、身近な材料や用具の特徴を生かしてプレートを製作していくのである。

上記のような学びにおいて、子どもたちが「新入生に自分たちのお気に入りの場所を楽しく伝えたい」という共通の目的をもち、形や色などを視点に仲間とかかわり合う中で、発想を広げたり表し方の構想を深めたりしていくことを大切にしたい。

そこで、以下のような支援を具体化する。

- 題材の導入では、参考作品を鑑賞した気付きを、場所への思い、形や色、材料や用具の使い方に類別して板書する。そうすることで、製作上の大切な視点をとらえ、思いを伝えるプレートを製作することの見通しをもつことができるようにする。
- 場所への思いや場所の用途から、伝えたいことを簡単な絵や言葉にかきとめるよう促す。そうすることで、イメージを形や色などで具体化していくことができるようにする。
- ダンボール紙などを使って試作品をつくり、表したいことに合った全体の形や色、部品や材料の工夫について仲間と話し合うよう促す。そうすることで、表し方の共通点や相違点に着目し、仲間の工夫やよさを製作に取り入れる意識を高めることができるようにする。
- 板材や電動糸のこぎりの他に、角材や紙粘土、釘、金づちなど子どもたちがこれまで扱ったことのある材料や用具を用意する。そうすることで、その効果や可能性に気付き、構想を深められるようにする。
- 毎時間の終末に、工夫できたことや自分の製作に生かした仲間の工夫を振り返るよう促す。そうすることで、自他の表し方の工夫を捉えるとともに、仲間と学ぶよさを感じることができるようになる。

## 2 目 標

- お気に入りの場所への思いや場所の用途から表したいことを考え、形や色、身近な材料や用具の特徴を生かしてプレートを製作することができるようにする。
- 仲間と、伝えたいことの表し方について話し合いながら、工夫して製作したり、互いの表し方を見合ったりすることの喜びや楽しさを味わうことができるようにする。

## 3 評価規準

造形への関心・意欲・態度（関）	発想や構想の能力（発）	創造的な技能（技）	鑑賞の能力（鑑）
○表したいことを表すことに関心を持ち、自分の思いをもって取り組もうとしている。	○伝えたいことから、表したいことを見付けたり、形や色、用途や計画などを考えたりしている。	○自分の表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法を選ぶなど工夫して表している。	○自他の作品の形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたりよさや美しさを感じ取ったりしている。

## 4 指導計画 30M（10時間）が本時

学習活動	子どもの意識
<b>第1次 プレートについて話し合い、学習の見通しをもつ 6M（2時間）</b>	
<b>学習内容</b> ・参考作品の工夫やよさへの気付き（鑑） ・自分の思いをもって形や色で表すことへの関心（関）	
<input type="checkbox"/> 参考作品を鑑賞し、つくりたい作品のアイデアスケッチをかく (6M)	<p>・学校の中の様々な場所の写真だね。これは、中庭かな。木にプレートがかけてあるね。先生がつくったのだね。つるつるしてさわると気持ちのよいさるすべりの木があるから、みんなに知らせたくて、もともとある木の名前のプレートの下にかけてみたのだった。さるの顔の形をしていて、見ていて楽しくなるね。ピンクの花の部品が付いていて、夏にどのような花が咲くのかが分かるね。もう一枚は、パレットの形をしているよ。図工室だ。これなら、入学したばかりの1年生も、何をやる部屋なのかがすぐに分かるね。パレットの真ん中に穴が開いていて、口みたいで面白いね。穴は電動糸のこぎりで切り抜いたのかな。あれっ、パレットが開く仕掛けになっている。ちょうつがいを使って2枚の板をつないでいるのだね。でも、何だかもの足りないね。絵の具や筆などの部品をつかって付けてみると、図工の楽しさがもっと伝わりそうだよ。みんなで、入学してくる1年生に自分のお気に入りの場所のことをプレートで楽しく伝えるのだね。わたしは、音楽室のプレートをつくるよ。まずは、アイデアスケッチをかいてみよう。プレート全体の形は、ピアノの鍵盤の形にすると分かりやすいかな。楽器を部品にして付けようかな。</p>
<b>第2次 材料や用具の特徴を生かしてプレートを製作する 21M（7時間）</b>	
<b>学習内容</b> ・形や色、用途や計画を考えること（発） ・形や色、材料や用具の工夫（技）	
<input type="checkbox"/> 試作品をつくり、場所に飾って写真を撮る (6M)	<p>・アイデアスケッチを基に、ダンボール紙で試作品をつかって、形や色を大まかに表してみよう。大きさはどれぐらいかな。音楽室に行って確かめてみよう。入口の戸の上に付けられるかな。全体の形はピアノの鍵盤にして、ゆるやかな曲線に切ろう。よし、</p>

<p>□形や色、使う材料の工夫について話し合い、試作品をつくる (3M)</p>	<p>大まかな形ができた。「音楽室」という文字はおどってみえるように変形させよう。色ペンで色をぬってみよう。1年生がわくわくするような明るい感じの色がいいかな。音楽室にかけてみて、場所に合うかどうか写真を撮って見てみるよ。このプレートで、思いが伝わるかな。教科書に載っている作品は、木以外の材料もうまく使っているね。もっと楽しいプレートにしたいな。</p> <p>・ <b>みんなはどんなプレートをつくるのかな。試作品を見せ合おう。Aさんが、わたしのプレートを見て、「鍵盤の形が曲線で音楽が流れている感じが伝わる」って言ってくれたよ。Bくんの体育館のプレートは、跳び箱とバスケットゴールの形を組み合わせておもしろいね。もっと、どのような工夫ができるか考えよう。白い鍵盤の上に黒い鍵盤の板を貼るようにして立体的にしよう。「音楽室」という文字は、ひらがなにした方が新1年生には分かりやすいね。音符の部品はAさんみたいに、ひもでぶら下げて動くようにしてみよう。そうだ、先生の参考作品に使われていたちょうつがい、本が開くようにしてみよう。2つのものを組み合わせたり、部品の付け方を工夫したりして、楽しいプレートになりそうだよ。いよいよ次から製作だね。</b></p>
<p>□木の板を電動糸のこぎりで切り抜き、プレートを製作する (6M)</p>	<p>・ 木の板でプレートをつくるよ。まず、試作品と大きさを合わせて全体の形を板にかこう。試作品の黒い鍵盤を使って、木に形を写し取ろう。楽器や音符の部品は、板の無駄がないようにかいていこう。電動糸のこぎりで曲線もきれいに切れたよ。紙やすりで磨いて形を整えてから着色するよ。Cさんが、絵の具を濃い目を使うと色が均一になると教えてくれたよ。部品をぶら下げるためにひもを通す穴をきりで開けておこう。</p>
<p>□部品や飾りを付け、プレートを製作する (6M)</p>	<p>・ 鍵盤の形の板の上に、木工用接着剤で丁寧に部品を付けよう。Bくんが、大きくて重みのある部品はさらに釘を打って取れにくくすると言っていたよ。ちょうつがいを付けてみると、楽譜の部品の板が動くようになったよ。音符の部品をぶら下げるひもは、音符が宙に浮いて見えるように透明な糸にしたよ。一番下には家から持ってきた鈴をぶら下げてみたよ。揺らすと音が鳴るよ。音楽室の入口にかけられるように、バランスよく穴を開けて、針金をつけよう。丈夫で長持ちするようにニスをぬって仕上げよう。</p>
<p><b>第3次 作品を校内に設置し、鑑賞会を行う 3M(1時間)</b></p>	
<p><b>学習内容</b> ・表現の意図や特徴への気付き (鑑)</p>	
<p>□作品を設置し、互いの作品を鑑賞しながら、表し方の工夫やよさを見付ける (3M)</p>	<p>・ できたプレートを音楽室の入口に取り付けよう。みんなが音楽の楽しさが伝わるプレートだと言ってくれたよ。玄関の水槽の魚たちのことを伝えるCさんは、全体を魚の形にしている、新1年生もすぐに分かるね。キラキラしていて、学校の玄関が明るくなったね。みんなのお気に入りの場所を伝えるプレートがあちらこちらに飾ってあって、楽しい学校になったね。このプレートを見て、新1年生が学校と仲良くなってくれるといいな。</p>

**5 本時案 【平成26年11月28日 9:55~10:40 図工室】**

(1) ねらい 形や色、材料の工夫を話し合いながら、プレートの試作品をつくることで、伝えたいことをより楽しく表すための構想を練ることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支 援
<p><b>① 試作品を見合い、表し方の工夫を話し合う (15分)</b></p> <p>学習内容 ・表現の意図や特徴をとらえること(鑑) ・表し方を考えること(発)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽室のプレートは、鍵盤の形を少し変形させるよ。</li> <li>A 曲線にすると、音楽が流れる感じがするね。</li> <li>Bくんの体育館のプレートは、跳び箱とバスケットゴールが組み合わされた形になっていて、面白いね。</li> <li>みんなと試作品を見合って、工夫を見付けるよ。</li> <li>部品を板の上に貼って、形が立体的になっている人がいたよ。</li> <li>B ひもで飾りをつくっている人もいるね。ぼくも他の材料を使って、もっと楽しくしたいな。</li> </ul>	<p>○表したいことに合った全体の形や色、部品や材料の工夫について、仲間と話し合うよう促す。そうすることで、表し方の共通点や相違点に着目し、仲間の工夫やよさを製作に取り入れる意識を高めることができるようにする。</p>
<p><b>② 表し方の工夫をしながら試作品をつくる (25分)</b></p> <p>学習内容 ・表し方を考えること(発) ・形や色、材料の工夫(技)</p> <p>伝えたいことを楽しく表すためには、どのような工夫ができるか試してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒い鍵盤の部品をつくって、上に貼って立体的にしてみよう。</li> <li>わたしも、全体の形を曲線にして、楽しい感じにしよう。</li> <li>C 玄関にある水槽の魚のことを入学してくる1年生に知らせたいのだけど、なんだか目立たないなあ。</li> <li>A 私は目立たせるために、キラキラのテープを使ってみたよ。</li> <li>C いいね。魚のうろこのところに貼ってみよう。</li> <li>図書室はたくさんの本があってわくわくすることを1年生に伝えたいよ。本が開くような仕掛けをつくりたいな。</li> <li>先生の作品に使われていたちょうつがいを使うとできそうだよ。わたしも部品を開くようにしてみたいよ。</li> <li>Aさんのプレートは、部品がぶらさがっていて動きがあるね。わたしも部品をひもでぶらさげて、音符が揺れているようにしてみよう。</li> <li>「音楽室」という文字を漢字にしていたけれど、ひらがなにした方が、新1年生には分かりやすいよね。</li> </ul>	<p>○伝えたいことが書かれたワークシートや前時に撮った写真も併せて見合うよう促すことで、仲間の思いに合わせて、工夫を見付けたりアドバイスし合ったりできるようにする。</p> <p>○子どもの表したいことに適した材料を用意し、手に取って試すことのできる場を設定することで、その効果や可能性に気付き、そこから構想を深められるようにする。</p>
<p><b>③ 本時の学習活動を振り返る (5分)</b></p> <p>学習内容 ・表現の意図や特徴をとらえること(鑑) ・自分の思いをもって表すことへの関心(関)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つのものを組み合わせて、全体の形が楽しくなったよ。</li> <li>B 友達の工夫を見て、体育館のバスケットゴールをひもを使ってつくることを思い付いたよ。</li> <li>C Aさんのおかげでプレートがキラキラして目立つようになったよ。1年生にも水槽の魚を気に入ってもらえるといいな。</li> <li>次の時間は、いよいよ製作だね。楽しみだな。</li> </ul>	<p>○工夫できたことや自分の製作に生かした仲間の工夫を振り返るよう促すことで、自他の表し方の工夫を捉え、仲間と学ぶよさを感じることができるようになる。</p>